

いつもご支援ご指導頂き、ありがとうございます。

今議会では私にとって3回目となる一般質問をさせて頂きました。

そして今回は初めて、約30分質問をまとめて行い、それに対する答弁もまとめて頂く一括方式ではなく、一つ一つのテーマごとに質問と答弁を行う、一問一答方式で行いました。

市議会の時に比べ、再質問の回数に制限があったり、質問に対するヒアリングをしっかり行うので、いわゆる丁々発止のやり取りはできませんでしたが、聞いて頂いた方はわかりやすかったのではないのでしょうか？よろしければ是非、県議会インターネット中継で当日の議論をご覧下さい。

そして今後も、更に議論が深まり、わかりやすいやり取りができるよう、一般質問のやり方も含め、議会改革に取り組んで参ります。

引き続き宜しくお願い致します。

県議会議員 八子朋弘

やこ朋弘 プロフィール 昭和48年8月15日生(49歳)しし座・B型

富士見市立勝瀬小学校卒業(少年野球チーム・クリッパーズ所属)
 富士見市立勝瀬中学校卒業(野球部・生徒会)
 埼玉県立松山高校卒業(応援団団長・生徒会長)
 國學院大学法学部法律学科卒業
 (弁論部・野球サークル会長・川越身障者団体「たんぼぼ」お風呂介助)
 参議院議員秘書8年半在職
 富士見市議会議員(4期)・副議長 草の根代表

■ 現在(子育て奮闘中)

富士見市野球連盟 事務局長・審判部
 富士見市野球連盟「スパローズ」監督
 富士見市ソフトボール協会「ベッツ」メンバー
 富士見市少年野球連盟所属「エンゼルス」代表
 勝瀬ふじみ野サッカークラブ 顧問
 関沢小学校PTA副会長補佐
 西中学校PTA 本部役員
 西みずほ台保育園・針ヶ谷保育園 理事
 福祉NPOグループみずほ 監事
 競技かるたチーム「ちはやふる富士見」顧問
 松山高校応援団OB会 事務局

■ 家族

勝瀬に父(新潟県出身)、小学校から大学まで全て同じ
 経歴の弟(さいたま市在住)、西みずほ台に妻と長男
 (18歳)・長女(15歳)・次女(6歳)



応援団長として



無所属県民会議 富士見支部 (県議会議員やこ朋弘事務所)

TEL 049-255-8585 FAX 049-255-8585 〒354-0018 富士見市西みずほ台3-3-11 ハイツみずほ台108号
 090-4546-8606 yako@yakogo.com 討論資料

県政レポート

やこ通信

令和4年8月発行

No. 55

Twitter はじめました!

フォローお願いします!



@Yakotomohiro



Tomohiro Yako



やこ朋弘 公式HP
yakogo.com

3回目の

一般質問

ブレない!
 今までも これからも!!

県議会議員

とも ひろ

やこ朋弘

49才



ブれない!
今までもこれからも!!

一般質問の主な内容

1 知事任期残り1年を前に、公約の進捗状況は

問 現時点における評価は。また第三者評価を受けてはどうか。

答 公約は全体の8割弱が工程表通り進んでいる。自己評価で75点くらいではないか。公約は県の5か年計画に反映したので、現時点で第三者評価をお願いする事は考えていない

2 県立中学校設置に向けた取組について

問 これから県として、設置に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 公教育全般の充実を図っていく中で、中高一貫教育についても検討していく必要があるものと考えている。



現在唯一の県立中である
伊奈学園中学

3 一時保護所をめぐる課題について

問 様々な課題に対し、どのように対応しているか。また、現在第三者評価を受けているが、より質の高い評価を受けるため、一時保護所の業務に精通した機関の評価を受けるべきではないか。

答 より多く個室化を進めたり、児童の声をくみ取る機会を確保するため、今年度より弁護士等を派遣し、児童の意見を聞く取り組みを開始した。また、業務に精通した評価機関を含め、質の高い評価を受けられるよう、評価機関の選定を行っていく。

4 公立中学校の運動部活動改革について

問 公立中の運動部活動改革として、休日の指導を地域移行させる等の提言が出された。県としてどのように対応していくのか。



答 白岡市や戸田市で実践研究を行い、今後、庁内に部活動地域移行推進委員会を立ち上げ、円滑な地域移行に向けて取り組んでいく。

5 民生委員のなり手確保について

問 民生委員のなり手確保、担い手の高齢化等の課題が問題となっている。県として可能な限り若い世代のなり手確保に取り組むべきではないか。



答 ICTの活用や民生委員をサポートする協力ボランティア制度を導入している事例等、優良な取組を市町村に提供し、時間的制約があっても活動に取り組める環境づくりを進める事で、若い世代のなり手確保に取り組んでいく。

6 不登校支援からひきこもり支援について

問 小中学校で不登校状態になってしまった生徒はその後、ひきこもり状態に陥ってしまうケースが多いと言われている。不登校支援とひきこもり支援を別々に考えるのではなく、継続的に支援していく体制が必要ではないか。

答 高校に「児童生徒理解・支援シート」を活用して情報提供したり、中学からの情報を市町村の担当部署が引き継ぎ様々な団体と連携し、ひきこもり支援に取り組んでいる。

7 子どもの運動機会の確保について

問 全国体力テストにおいて、埼玉県は全国トップクラスの順位だが、なぜかボール投げだけは低調である。どのように取り組んでいくか。

答 教員がボール投げに関する正しい指導法を身につける事が必要である。動画を活用したり講習を実施する等、ボールを投げる能力を一層向上させる方策を研究していく。



8 富士見市で進んでいる県の事業について

問 上南畑産業団地の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

答 既に99.2%の用地を取得し、造成工事着手に向け実施設計を行っている。今後、用地取得を完了させるとともに、造成工事や立地企業の募集に向けた準備を進めていく。

問 国道254号和光富士見バイパスの進捗状況と今後の見通しについて伺う。

答 令和4年1月に国道463号から志木市役所前を通る県道さいたま東村山線までの用地を取得した。令和5年春の開通を目指し、工事を進めていく。

問 工事が進んでいる水谷調節地の現状と今後のスケジュールについて伺う。

答 現在、軟弱地盤対策に着手している。来年度からは排水樋管等の工事に着手し、令和6年度以降に調節池周囲の築堤などを実施する予定。

問 渋井水門増設に伴う、南畑排水機場の効果的な運用について伺う。

答 南畑排水機場については、水門増設後も現行の操作規則のまま運用できる事を国と確認しているが、今後も国と連携して渋井水門と南畑排水機場の適切な運用を図り、流域の浸水被害の軽減に取り組んでいく。



開通が待たれる
和光富士見
バイパス



南畑排水機場